# 広報

Announcing to public Unnan

# うんなん

## 公立雲南総合病院前整備
## （JR出雲大東駅周辺整備事業）
## 7月末完成

長らくご迷惑をおかけしておりましたが、JR出雲大東駅周辺整備事業により病院玄関前の段差が解消され、ご来院の皆様に利用いただけるようになりました。また回転場（ロータリー）の設置により、緊急車両やバスなど、スムーズに出入りができるようになりました。


公立雲南総合病院 P2〜7
新任医師紹介 2〜3
栄養サポートチーム紹介 4〜5
お知らせ（外来診療担当医一覧ほか） 6〜7

雲南消防本部 P8〜13
平成18年上半期出動状況 8
お知らせ（火災報知器の設置について） 9
平成18年度予算概要 10
お知らせ（各種行事ほか） 11〜13

雲南広域連合 P14〜23
介護保険情報 14〜17
ゆうきの里づくりシンポジウム開催 18〜20
雲南物産展開催・地域づくりセミナー開催 21
雲南イベント情報 22〜23

雲南市大東町のゲンジボタル P24



夏号 2006 Vol.2 7

平成18年7月14日発行


広報うんなんは、雲南広域連合・公立雲南総合病院・雲南消防本部の共同で発行しています

# 新任医師紹介

## 山本　俊 Dr.Syun Yamamoto

**役 職 名** 内科医師　統轄副院長　　**趣味・特技** 園芸、家庭菜園

**資　　格** 消化器病専門医・指導医（日本消化器病学会認定）
消化器内視鏡専門医・指導医（日本消化器内視鏡学会認定）
肝臓専門医（日本肝臓学会認定）

**ひとこと** 伝統と実績を誇る公立雲南総合病院に赴任させて頂き大変嬉しく思っております。雲南病院には1975年頃、１週間の夏季支援のために岡山から何度かお邪魔しました。また、1985年頃の数年間は平田より毎月、消化器内視鏡カンファレンスに参加していたこともあり、私にとっては懐かしい病院です。また、診療部には一緒にお仕事をさせて頂いた先生方も多く、いずれも立派になられた様子を伺い、心強く思っております。私自身は、最近は病院管理を中心の任務でしたが、この度は診療を重視した職務に付くようになります。今までの錆を落とし、リセットしたうえで、苦痛のない胃カメラ検査のみならず、入院・外来・救急等、幅広く臨床の仕事をさせて頂く所存でございます。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

## 川上伸兒 Dr.Shinji Kawakami

**役 職 名** 産婦人科医師　部長

**資　　格** 産婦人科専門医（日本産科婦人科学会認定）
母体保護法指定医

**ひとこと** この度、７月１日より雲南総合病院産婦人科に勤務することになりました。おもに産婦人科のプライマリーケアを担当することになりますが、島根大学医学部産科婦人科と連携を密にして安全・安心な産婦人科医療をと思っています。もちろん病院の他科の先生方や地域の先生方のご支援ご協力をお願いしながら地域の皆様や病院に貢献したいと考えています。
産婦人科一般・内分泌分野（不妊症・更年期医療）を中心に診療をしていきたいと思います。また、これまでの開業医・勤務医両方の経験を生かして出来るだけきめの細かい診療に努めていくつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。

## New doctor introduction

### 駒澤慶憲 Dr.Yoshinori Komazawa

**役職名** 内科医師　部長　　**趣味・特技** ドライブ、映画鑑賞
**資　格** 消化器内視鏡学会専門医（日本消化器内視鏡学会認定）
**ひとこと** 島根県立中央病院から雲南病院に赴任してきました。
消化器疾患、内視鏡治療が専門となりますので、何かありましたらご相談下さい。

### 植田宏治 Dr.Kouji Ueda

**役職名** 外科医師　部長　　**趣味・特技** 温泉めぐり、湯上りのビール
サッカー
**資　格** 外科専門医（日本外科学会認定）
**ひとこと** 前任地の旧平田市よりまいりました。
微力ではありますが、引き続き地域医療のため、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

### 千貫大介 Dr.Daisuke Chinuki

**役職名** 内科医師　医長　　**趣味・特技** スキー
**ひとこと** よろしくおねがいいたします。

### 沼本邦彦 Dr.Kunihiko Numoto

**役職名** 整形外科医師　　**趣味・特技** フットサル、ドライブ
**ひとこと** 雲南地域の医療に貢献できるよう精進いたしますので、よろしくお願い致します。

# 雲南総合病院の栄養サポートチーム(NST)を紹介します

古くから、「医食同源」と言われるように、栄養と病気は関わりが深いのですが、現代も「栄養療法」という名で病気やけがの治り具合までも左右する重要な治療法と考えられています。入院患者様に対して、この栄養療法を、より効果的に行うチーム医療が雲南総合病院にはあります。このチームを栄養サポートチーム（NST）と呼びます。栄養療法を強化することで、治療効果が上がり、その結果入院期間が短くなり、医療費も軽減すると言われています。

## 問1 栄養サポートチーム(NST)とは？

**答** 入院患者様に栄養障害が起こったときには、その原因を取り除くとともに栄養状態を把握し、適切な栄養療法によって全身状態の改善を行う必要があります。栄養サポートチーム（Nutrition Support Team　略称NST）とは、各専門スタッフがそれぞれの知識や技術を出し合い、患者様にとって最良の栄養療法を行えるよう、病気の治療を栄養面から支援するチームです。

### 現代でも栄養不良？

病気になって食べられなくなったり、食べる量が減ったりして栄養障害が起こることがあります。「飽食の時代」といわれる現代では無縁のように思えますが、ときには栄養不良も起こりうるのです。

### 栄養不良はなぜいけないの？

栄養不良の状態が続くと、手術の傷やけがが治りにくくなったり、床ずれができたりします。そのほか、

①手術後の合併症が増加します。
②免疫力の低下により感染症が増えたり悪化したりします。
③筋肉量が減少することによって体力の回復が遅れたり、リハビリなどに影響を与えます。

## 問2 NSTは何をしているの？

答 入院されたすべての患者様に対して、医師、看護師、管理栄養士がそれぞれの立場から栄養状態の評価をします。栄養障害があると思われる患者様に必要に応じてNST委員で回診を行い、どのような点滴や経腸栄養剤（食事の代わりに胃や腸に入れる栄養剤のことです）が治療に役立つのか検討、提案、効果判定をします。また、栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見にも努めます。定期的に行われる検討会では、委員全員で経過報告・症例検討や勉強会を行います。また全職員を対象に毎月勉強会を実施し、病院職員全体の知識の啓発に努めています。

## 問3 最良の栄養療法は？

答 「口から食べること」こそ最良の栄養療法です。
できる限り胃腸を使うことで、抵抗力・免疫力が高まることや、リハビリにも有利であることが解ってきており、点滴よりもはるかに歴史の長い「胃腸を使う栄養法」が見直されて、積極的に行われるようになってきました。一旦は口から食べられなくなっていても、胃腸を使い続けることで、再び口から食べられるようになる患者様も多数おられます。NSTではこの考えを重視して、できるだけ胃腸を使った栄養法を使う努力をしています。

「万病に効く薬はないが、栄養は万病に効く」という考えのもとに、当院に入院される患者様が、最良の栄養状態で治療を受けられるよう、NST委員一同、努力を続けて参ります。

また、将来は入院患者様だけでなく、在宅を含めこの地域で療養なさっている皆さまの、栄養支援を任せていただけるようなチームを目指していきたいと考えています。

栄養療法やNSTについて、もっとお知りになりたいことがあれば

**NST事務局　栄養管理課**
**TEL 0854−43−2390（代）**

までお問合わせください。

# 医療機器の更新について

雲南総合病院放射線科では、地域医療サービスの向上のために平成17年10月にMRIを、平成18年6月にマルチスライスCTを更新しましたので紹介します。

## CT〔X線コンピューター断層撮影装置〕

**特長**

1. 短時間撮影
2. 広範囲撮影が可能
3. より詳しい診断
4. 低被ばく
5. コンパクトなCT

〔シーメンス社製エモーション(Emotion)〕

## MRI〔磁気共鳴診断撮影装置〕

**特長**

1. 臨床診断（急性脳梗塞等）の範囲拡大
2. 広範囲撮影が可能
3. 細かい部分を大きくきれいに
4. 検査時間の短縮

〔シーメンス社製ハーモニー(Harmony)〕

ＣＴ・ＭＲＩとも、更新によりさらに充実した検査ができるようになりました。臨床診断の手助けとして地域の皆様方のお役に立てるようスタッフも共にがんばっていきたいと思います。

# 公立雲南総合病院外来診療担当医一覧表

| | | |
|---|---|---|
| 受付時間 | 午　前 | 8時30分～11時00分（初診の方） |
| | | 7時15分～11時00分（再診の方） |
| | 午　後 | 1時00分～　4時00分（診療科については下記の表をご確認ください。） |
| 休診日 | 土、日曜日・祝日・年末年始（12月30日～1月4日）<br>※尚、急患の方はいつでも救急外来にて診察いたします。 | |
| 面会時間 | 平　日 | 午前11時00分～12時00分／午後3時00分～8時00分 |
| | 休診日 | 午前11時00分～午後8時00分 |
| | ※上記以外の面会は診療に差支えますのでご遠慮下さい。 | |

平成18年7月1日現在

〈所在地〉
〒699-1221
島根県雲南市大東町飯田96-1
Tel 0854-43-2390㈹
Fax 0854-43-2398
〔ホームページアドレス〕
http://user.yoitoko.jp/unnan-h/

上段（　　）は特殊外来等の名称

| 診療科 | | 月 午前 | 月 午後 | 火 午前 | 火 午後 | 水 午前 | 水 午後 | 木 午前 | 木 午後 | 金 午前 | 金 午後 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 内科 | 一診（再診：予約） | 服部　修三 | － | 千貫　大介 | － | 服部　修三 | － | 駒澤　慶憲 | － | 服部　修三 | － |
| | 二診（再診：予約） | 山本　　俊 | － | 濱本　幸子 | － | 濱本　直治 | － | 濱本　直治 | － | 山本　　俊 | － |
| | 三診（糖尿：予約） | － | － | － | － | 大学医師 | 大学医師 | － | － | 大学医師 | 大学医師 |
| | 六診（初診） | 濱本　幸子 | － | 濱本　直治 | － | 山本　　俊 | － | 千貫　大介 | － | 駒澤　慶憲 | － |
| 循環器外来（予約） | | － | － | 金築　一摩 | － | 今井　健介 | － | － | － | 菊地　慶太 | － |
| 小児科 | 一診 | 根冝　由実 | 根冝　由実 | 根冝　由実 | 根冝　由実 | 根冝　由実 | 予約：乳児健診 14:00～15:00 予約：ワクチン外来 15:00～16:00 | 根冝　由実 | （根冝　由実） | 根冝　由実 | 虫本　雄一 |
| | 二診 | 虫本　雄一 | 虫本　雄一 | 虫本　雄一 | 虫本　雄一 | 虫本　雄一 | | 虫本　雄一 | （虫本　雄一） | 虫本　雄一 | 大学医師 |
| 外科 | 一診 | 末光　浩也 | － | 大谷　　順 | － | 末光　浩也 | － | 大谷　　順 | （予約：ストマ外来）（第2木曜日）末光　浩也 | 末光　浩也 | － |
| | 二診 | 澤田　芳行 | － | 澤田　芳行 | － | 須藤　一郎 | － | 植田　宏治 | | 須藤　一郎 | － |
| 整形外科 | 一診 | 松井　　譲 | － | 田中日出樹 | － | 松井　　譲 | － | 江田　有史 | － | 田中日出樹 | － |
| | 二診 | 沼本　邦彦 | － | 大畑　範英 | － | － | － | 沼本　邦彦 | － | 大畑　範英 | － |
| | 三診 | 江田　有史 | － | 松井　　譲 | － | 田中日出樹 | － | 田中日出樹（予約：リウマチ外来） | － | 松井　　譲 | － |
| 脳神経外科（予約） | | 安東　誠一 | － | 安東　誠一 | － | 安東　誠一 | － | 安東　誠一 | － | 安東　誠一 | － |
| 産婦人科（予約） | | 青木　昭和 | － | 川上　伸兒 | － | 大学医師 | － | 川上　伸兒 | － | 青木　昭和 | （予約：更年期外来）15:00～川上　伸兒 |
| 耳鼻咽喉科 | 一診 | 佐野　啓介 | （予約・一般）14:30～佐野　啓介 | 佐野　啓介 | － | 佐野　啓介 | － | 佐野　啓介 | － | 佐野　啓介 | （予約・一般）14:30～佐野　啓介 |
| | 二診 | － | （予約・一般）14:30～大学医師 | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 眼科（予約） | | 石原　美香 | － | 石原　美香 | － | 石原　美香 | － | 石原　美香 | コンタクト外来 | 石原　美香 | － |
| 泌尿器科（予約） | | 塩野　　学 | － | 瀬島　健裕 | － | 瀬島　健裕 | － | 塩野　　学 | － | 瀬島　健裕 | － |
| 麻酔科 | | 大学医師 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 皮膚科 | | 千貫　祐子 | － | － | － | 草竹　兼司 | － | － | － | 千貫　祐子 | － |
| 放射線科 | | 福庭　栄治「紹介患者のみ」 | | | | | | | | | |
| リハビリテーション科 | | 大畑　範英「紹介患者のみ」 | | 江田　有史「紹介患者のみ」 | | 大畑　範英「紹介患者のみ」 | | 大畑　範英「紹介患者のみ」 | | 江田　有史「紹介患者のみ」 | |
| 精神科 | | 原　　陽一 | － | 神尾　　聡 | － | 代務医師 | － | 山田　武史 | － | － | － |

●**眼　　科**：木曜日午後のコンタクト外来（受付時間　午後1時30分～3時30分）
第1・5木曜日　シードコンタクト
第2・4木曜日　日本コンタクト
第　3　木曜日　サンコンタクト（チバビジョンコンタクトも取り扱っています。）

●**外　　科**：肛門外来・乳腺外来・甲状腺外来は毎日、禁煙外来は毎週水曜日午前診療にて行っております。

●**健康診断**：人間ドック・政府管掌健診・企業健診等一般診査をはじめ、その他脳ドック・骨粗鬆症検診・肺癌検診・前立腺検診を予約にて賜ります。お申し込みは保健推進課までご連絡ください。

診療「予約」・人間ドック・健診等に関するお問合せは（0854）43－2390㈹までご連絡ください。

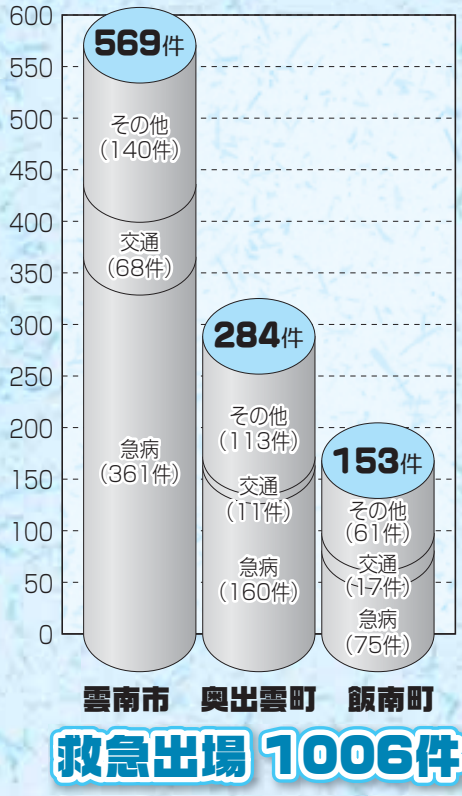
# 上半期の火災・救急・救助統計

## 建物火災多発　死者3名

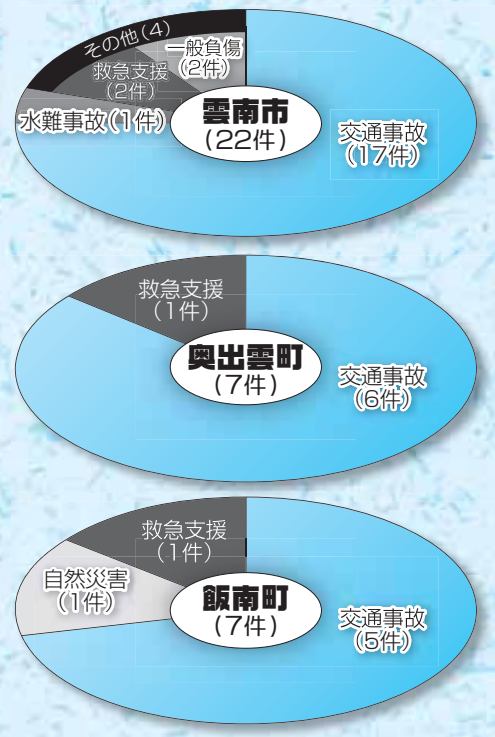
平成18年上半期の火災発生件数は、建物火災12件、林野火災5件、車両火災4件、その他火災1件の合計22件で、昨年同期の20件に比べ2件増加し、これらの火災により3名の尊い命が奪われました。

ほとんどの火災は、火気の取り扱いの不注意や不始末で起こった人災です。普段の心がけ次第で防げるものです。家庭や職場から火災をなくすため、地域ぐるみで防火の輪を広げましょう。

**火災出動 22件**




**救急出場 1006件**




**救助出動 36件**

## 天ぷら油から火災に至ります

### 天ぷら油火災の原因について

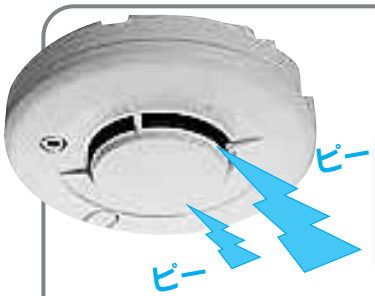
天ぷら油火災の多くは、天ぷらを揚げているときに電話がかかったり、来客の対応をするため、台所を離れていたときなどに、天ぷら油が高温となり発火します。このようなちょっとした油断が原因で火災に至ります。

あなたの防火の心がけがもっとも効果的な予防なのです。

### 天ぷら油火災の防止について

①コンロに火をつけたまま、その場を離れない。
②来客などでその場を離れるときは、コンロの火を消す。
③過熱防止装置の付いたコンロを使用する。

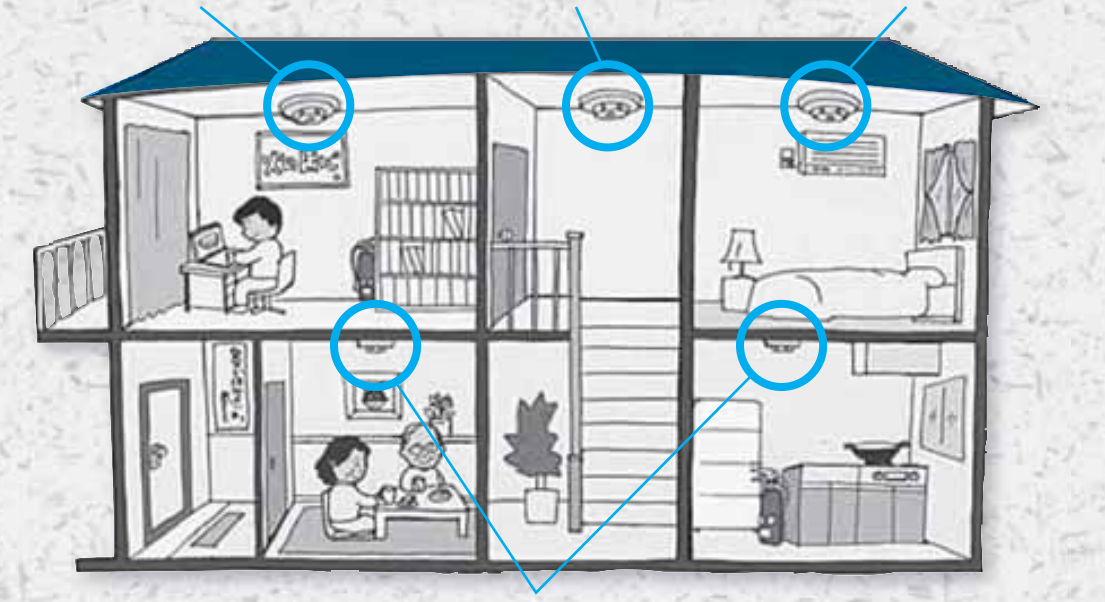
# 火災警報器があなたの命を守ります!!




住宅火災の**逃げ遅れによる死傷者を減らすため**、個人の住宅に火災警報器の設置及び維持管理が義務付けられました。

- **新築**の住宅は**平成18年6月1日**から設置義務
- **既存**の住宅は**平成23年5月31日**までに設置

## 住宅用火災警報器の設置場所




設置義務のない居間や台所にも設置すると安心です。

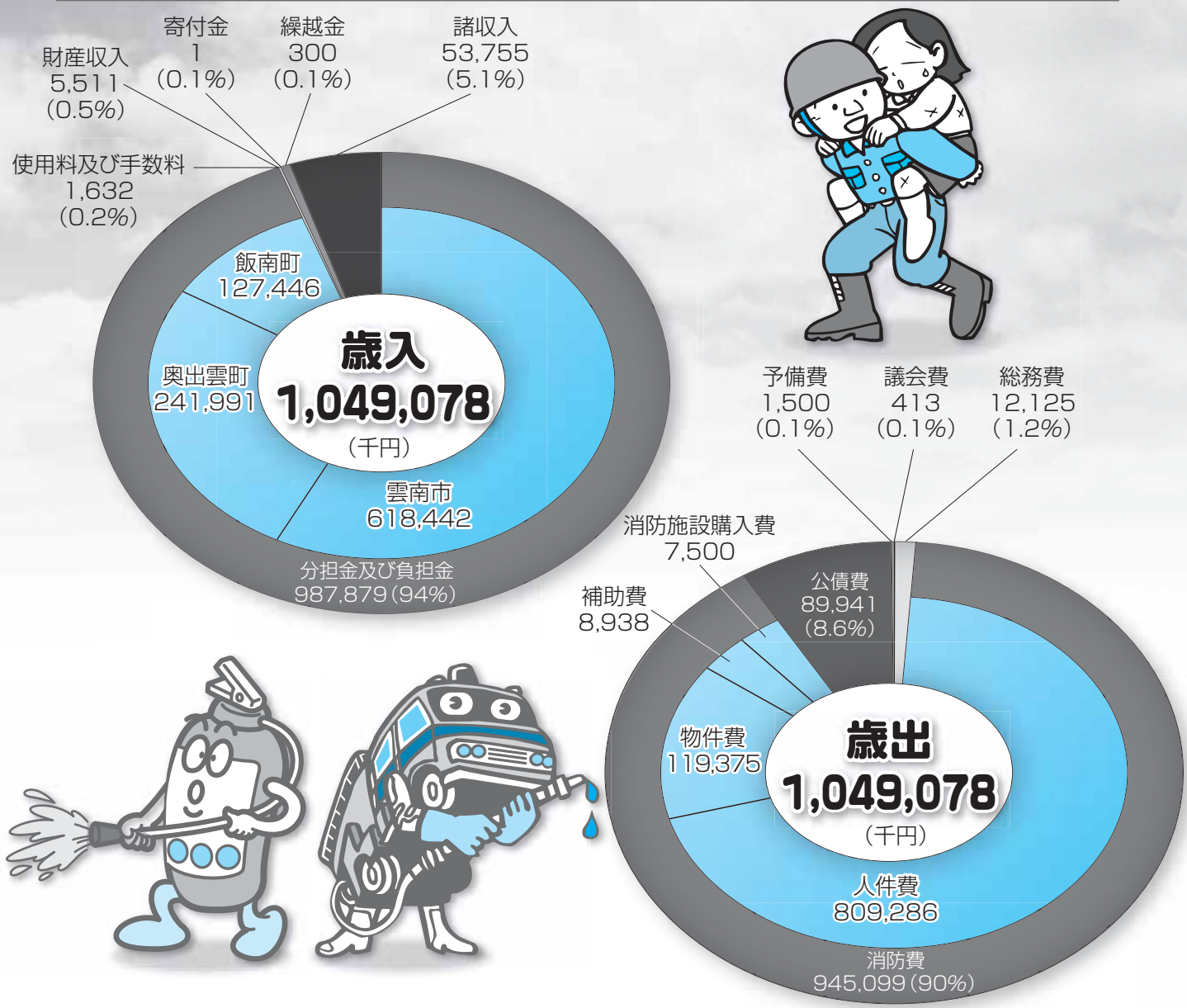
※設置義務になった火災警報器は**煙式**です。
設置及び維持基準については、火災予防条例で定められています。
台所に設置する場合は、熱式を設置するとよいでしょう。

- 住宅用火災警報器の価格は、商品の機能や電池の寿命により様々ですが、**5,000円前後から10,000円前後**です。
- 商品購入の目安として**NSマーク**（右図）が付いているものを選びましょう。
- **公的機関の職員が一般住宅を訪問し、住宅用火災警報器を販売することはありません!**
- 商品の説明書により、乾電池タイプ・コンセントタイプは**誰でも取り付けることができます。**

## *悪質な訪問販売にご注意！*

住宅用火災警報器の設置義務化を契機に、悪質な訪問販売が発生していますので注意して下さい。

# 雲南消防組合 平成18年度予算概要




## 国が定める消防力の整備指針と雲南消防本部の現有消防力（人員）

| 消防力の整備指針 | 現有消防力 | 充足率 |
|---|---|---|
| 197人 | 108人 | 55% |

### 国が定める消防力の整備指針とは

近年、災害が大規模化・複雑化する中で、これら災害に即応する必要から消防職員数や消防車両・施設等、消防力の充実強化を図るため、必要最小限の基準として、平成17年6月大幅な見直しが図られたものです。これに伴い職員の充足率が基準の約半数となっていますが、組織体制の見直しやより多くの実践的な訓練を実施するなど、職員の力を結集し、多様化する消防ニーズに的確に対応しています。

# 保安功労者・優良事業所全国表彰

６月５日（月）東京都において奥出雲町の嵐谷充生氏（有限会社嵐谷石油）が、財団法人全国危険物安全協会理事長表彰を受賞されました。

嵐谷氏は、永年、危険物の安全管理と保安に関する行政の推進に協力し、国民生活の安全の保持に顕著な功績が認められたものです。

雲南危険物保安協会役員として多年にわたり協会の発展向上に努められ、平成１６年には会長に就任され、危険物施設の安全管理と災害防止に尽力されています。

**6月14・15日** …… 雲南消防本部

# 甲種防火管理者資格取得講習会を開催

今年から年２回の甲種防火管理者資格取得講習会と再講習を予定しており、その１回目となる今回は消防本部会議室において開催しました。69 名の方が消防法改正に伴う防火管理の重要性を主眼に、その趣旨、意義について受講されました。

講習会の休憩時間には、受講生から講師に質問をするなど熱心な姿が見られ、２日目には全員の方が修了証を手にされました。

今後は、防火管理者として防火管理を進めていくために、必要な業務の実施や推進上の責任者として、誠実にその職務を遂行していただきたいと思います。

２回目は、10月４日（水）、５日（木）に開催します。

## 防火クラブ紹介

### 佐白女性防火クラブ
（仁多郡奥出雲町）

会長　吉川由希子さん

私たちの佐白女性防火クラブは、雲南市から県道玉湯・吾妻山線を通って、奥出雲町の入り口にある佐白、佐白町、上布施の３自治会からなる防火クラブで、平成１０年度に会員数８９名で発足しました。

毎年１回以上活動し、消火器による消火訓練や消火栓の確認及び清掃。防火、地震対策ビデオによる知識の習得や救急法などを地元消防団や消防署のご協力、ご指導を頂きながら行っています。これまでの活動の中で特に記憶に残っているのは、「トラッキング現象」です。普段差し込んだままにしているコンセントが原因で発火する恐ろしさを知り、その後、時々コンセントを抜いて、乾いた布で掃除をするよう心掛けています。さらに、救急法も昨年再受講し、以前の時と多少変わっており、万が一のために今後も受講していきたいと思います。

また、佐白町では、長い間子供夜警団が結成されており、かわいい声で夕方に、「火の用心」を呼びかけていましたが、団員の減少により最近では大人が引き継ぎ、各戸へ防火意識を促しています。

核家族の家庭が増え、男性も火を使う機会が増えており、これからは女性だけではなく、地域全体に「防火の輪」を広げ、クラブ目的である「協力体制と連携意識の高揚」を図るため、これからも活動を続けていきたいと考えます。

## 第30回 島根県消防救助技術大会

**６月２２日（木）**、島根県消防学校で開催された第３０回島根県消防救助技術大会に、雲南消防本部から４種目２１名の選手が出場し、１７名が入賞しました。

このうちロープ応用登はんの部で伊豆大輔、矢壁拓真組が第２位となり、７月２５日（火）に広島市で開催される中国地区消防救助技術指導会への出場権を獲得しました。

# お知らせ

Information

## 第58回島根県消防大会

第58回島根県消防大会が8月5日(土)雲南市加茂文化ホールラメールにおいて、県内から消防関係者多数の参加を得て開催されます。

この大会では、叙勲を受けられた方、消防庁長官表彰及び日本消防協会長表彰受章の披露、島根県知事表彰が行われます。

**内容**

13：00～ 歓迎レセプション 和太鼓演奏
13：30～ 式典 大会長(県知事),消防管理者代表挨拶
13：55～ 表彰
15：30～ 講演 株式会社防災＆情報研究所 代表 高梨成子氏
日頃からの災害に対する備えや、自主防災組織の組織化に向けた講演

## 第50回 島根県消防操法大会

8月6日(日)第50回島根県消防操法大会が、今年は雲南市木次町の斐伊川河川敷で行われます。

この大会に参加する管内の消防団は今年初めから訓練を開始され、地元開催ということもあり例年に増して熱が入り、連日夜遅くまで訓練に励んでおられ好成績が期待されます。

皆様のご声援よろしくお願いします。

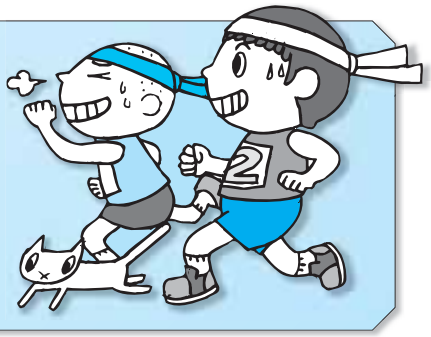
**出場隊**

**○ポンプ車の部**
木次方面隊、吉田方面隊、掛合方面隊、奥出雲町消防団

**○小型ポンプの部**
大東方面隊、加茂方面隊、三刀屋方面隊、吉田方面隊、奥出雲町消防団、飯南町消防団

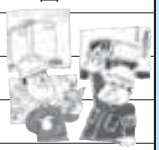
## 第5回 防火ジョギング大会開催　参加者募集

**期　日** 平成18年10月22日(日)　受付8時45分～　小雨決行
**会　場** 雲南市木次町新市斐伊川河川敷
**種　目** 2.5kmの部（A小学生以下、B中学生以上）・5kmの部
**ルール** タイム申告制（5kmの部を除く）
**コース** 会場…木次橋→桜のトンネル→木次大橋→斐伊川左岸堤防→簸上橋→会場内ゴール（1周約2.5km）



## 危険物取扱者試験について

| | 第　2　回　目 | 第　3　回　目 |
|---|---|---|
| 試験日 | 平成18年10月29日（日） | 平成19年1月14日（日） |
| 受付期間 | 8月29日～9月12日 | 11月13日～11月27日 |
| 試験種類 | 甲種、乙種（全類）、丙種 | 乙種第4類 |
| 集合時間 | 丙種　9時45分　　甲、乙種13時00分 | 13時00分 |
| 試験開始 | 丙種10時00分　　甲、乙種13時30分 | 13時30分 |
| 試験場所 | 松江市、出雲市、大田市、浜田市、益田市、隠岐の島町 | 松江市、出雲市、浜田市、益田市 |



※受験願書及び試験手数料払込書は、消防本部及び各消防署にあります。
詳細については、（財）消防試験研究センター島根支部（TEL 0852−27−5819）にお問い合わせ下さい。
なお、乙種第4類については、試験準備講習会(有料)が開催されます。
試験準備講習会については、島根県危険物保安協会連合会（TEL 0852−22−6752）にお問い合わせ下さい。

# 介護保険情報コーナー

## 介護サービス利用までの手続き

**介護サービスを受けたい**

**市町村の窓口に申請（本人又は家族等）**

※必要書類：申請書・介護被保険者証

**認定調査**
介護支援専門員等が訪問し、生活状況などを調査します

**医師の意見書**
かかりつけ医師に雲南広域連合より意見書を依頼します

**要介護認定**
保健・医療・福祉の専門家で介護認定審査会を行い、介護給付対象者と新予防給付対象者に区分されます

| 非該当 | 要支援1<br>要支援2 | 要介護1<br>～<br>要介護5 |
|---|---|---|
| | 介護予防サービスのケアプラン | 介護サービスのケアプラン |

### 介護予防事業
（一般高齢者に対する地域支援事業）

- 健康教室
- 食生活改善
- 配食サービス　等

### 介護予防事業
（特定高齢者に対する地域支援事業）

- 特定高齢者の把握
- 通所型介護予防
- 訪問型介護予防　等

### 介護予防サービス
- 介護予防デイサービス
- 介護予防リハビリ
- 介護予防訪問介護　等

### 地域密着型介護予防サービス
- 介護予防認知症対応型デイサービス
- 介護予防認知症対応型グループホーム　等

### 施設サービス
- 特別養護老人ホーム
- 老人保健施設
- 介護療養型医療施設

### 在宅サービス
- デイサービス
- 訪問介護
- 訪問看護
- ショートステイ 等

### 地域密着型サービス
- 認知症対応型デイサービス
- 認知症対応型グループホーム　等

# 平成17年度の介護保険の状況についてお知らせします

平成12年度に始まった介護保険制度は、平成18年度から「介護予防」と「自立支援」に重点をおいた新しい枠組みで再スタートすることとなり、平成17年度はその準備の年となりました。

今回、雲南地域における平成17年度の介護保険の状況について、平成15年度、平成16年度の実績と比較しながらみていきます。

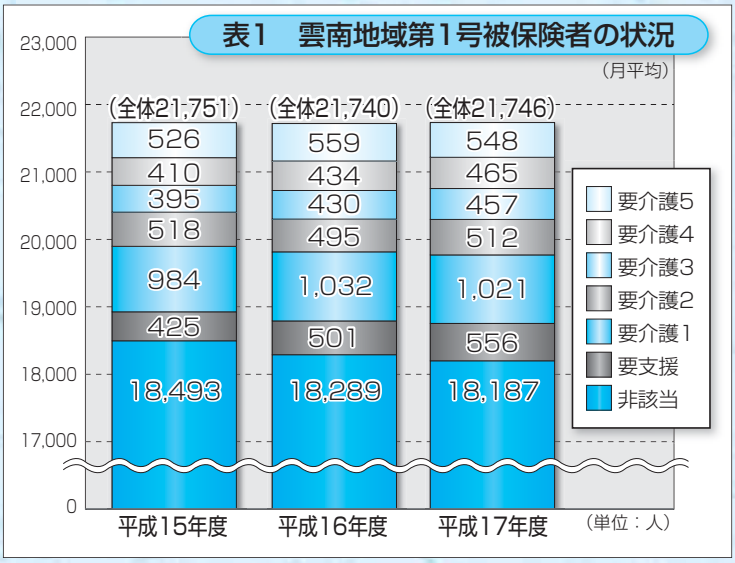
## 1.第1号被保険者（65歳以上の方）の数と認定者数の状況について

第１号被保険者数を月平均で比較（表１）してみると、平成 15 年度は 21,751 人、平成 16 年度は 21,740 人、平成 17 年度は 21,746 人と推移し、ほぼ横ばいの状況が続いています。

しかし、要支援と要介護に認定された方の数を比較すると、平成 15 年度は 3,258 人（認定率 15.0%）、平成 16 年度は 3,451 人（認定率 15.9%）、平成 17 年度は 3,559 人（認定率 16.4%）と年々増加しています。

また、平成 17 年度、「要介護 1」に認定された方の数は 1,021 人と認定者全体の 28.7%を占めています。

表1　雲南地域第1号被保険者の状況




## 2.介護サービスの利用状況について

介護サービス利用状況（表2）を比較してみると、給付総額の伸び率は、平成15年度から平成16年度にかけて5.59%の伸び率となっていますが、平成16年度から平成17年度にかけては0.65%となっており、伸び率は鈍化しています。これは、平成17年10月から施設サービス利用時の居住費と食費が原則自己負担になったことなどにより、施設介護サービスに係る費用が178,386千円減少したことが大きな要因となっています。

平成16年度から平成17年度にかけて、通所系サービス、その他のサービス（居宅療養管理指導、居宅介護支援など）、特定入所者介護サービスの給付費が増加し、それ以外のサービスは減少しています。

表2　サービスの利用状況

| 年度 / サービス名 | 平成15年度 | | 平成16年度 | | 平成17年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 給付費(千円) | 件　数 | 給付費(千円) | 件　数 | 給付費(千円) | 件　数 |
| 訪問系サービス | 336,815 | 9,687 | 348,236 | 9,975 | 337,306 | 9,813 |
| 通所系サービス | 966,742 | 25,514 | 1,061,740 | 27,853 | 1,119,838 | 29,321 |
| 短期入所系サービス | 278,385 | 3,646 | 293,212 | 3,939 | 288,959 | 4,098 |
| 施設介護サービス | 3,020,395 | 9,944 | 3,133,192 | 10,364 | 2,954,806 | 10,566 |
| その他のサービス | 284,129 | 23,453 | 323,469 | 25,005 | 385,726 | 25,892 |
| 特定入所者介護サービス | 0 | 0 | 0 | 0 | 106,837 | 4,511 |
| 合　計 | 4,886,466 | 72,244 | 5,159,849 | 77,136 | 5,193,472 | 84,201 |

＊その他のサービスとは、居宅療養管理指導、居宅介護支援、認知症対応型共同生活介護、特定施設入所者生活介護、福祉用具購入費、住宅改修費の各サービスをさします。
＊高額介護サービス費、審査支払手数料は含まれていません。

# かんたん!! 介護予防体操

新しくなった介護保険制度は「介護予防」と「自立支援」に重点を置いています。
毎日元気で楽しく生活できるよう、できる限り介護を必要とする状態にならないよう予防に心掛け、ちょっとした時間に介護予防体操を実践してみましょう。

## 腕や肩の関節が硬くなるのを予防する体操です。

### ①両手の指を組む

横になっておなかの上で
両手を組んでみましょう。

### ②組んだ両手を上げる

組んだ両手をゆっくりあげてみましょう。正面まで上がったら、そのままゆっくりひじを伸ばしてみましょう。

### ③さらに少しずつ腕を上げる

ひじを伸ばした状態で、両腕をゆっくり顔の方へ近づけてましょう。

### ④もとに戻す。

両手をゆっくりもとに戻しましょう。

**注意**：無理のないよう、毎日少しずつ実践しましょう。

# 平成18年度介護支援専門員実務研修受講試験の実施について

介護支援専門員は、介護保険制度で居宅介護支援等を行う専門職種です。
この試験の合格者は、所定の実務研修を受講することで介護支援専門員として従事することができます。

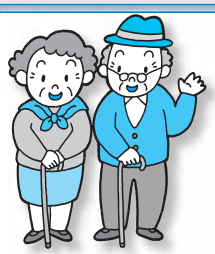
| | |
|---|---|
| 試験日 | 平成18年10月22日（日） |
| 会場 | 島根大学（松江市）、県立浜田高等学校（浜田市） |
| 受験資格 | 保健・医療・福祉分野で原則5年以上実務経験を有する方 |
| 受験手数料 | 7,000円 |
| 申込期間 | 7月31日（月）～8月18日（金）当日消印有効 |
| 要項 | 7月3日（月）から県庁高齢者福祉課、各保健所、各福祉事務所、各市役所、町村役場で配布 |
| 問合せ先 | 県庁高齢者福祉課　TEL 0852－22－6520 |

# 介護保険料 Q&A

介護保険料の納め方について、お問い合わせの多い質問にお答えするコーナーです。
まず、納付方法には**①特別徴収**（年金からの天引き）、**②普通徴収**（納付書による納付および口座振替による納付）の２つがあります。

**Q** 先日65歳になりました。65歳になると介護保険料は年金から天引きされると聞いていましたが、先ごろ納付書が届きました。なぜですか？

**A**



新たに 65 歳になって、すぐに介護保険料を年金から天引き（特別徴収）にすることはできません。年金から介護保険料を天引きするためには以下の条件を満たす必要があります。

**①基準日時点ですでに 65 歳になっていること**
**②基準日時点ですでに年金の受け取りを始めていること**
**③年金の年額が 18 万円を超えていること（老齢福祉年金を除く）**

以上の条件を満たしますと、基準日の半年後から年金天引きに切り替わります。平成 17 年度までは基準日は年 1 回（4 月 1 日）だけでしたが、平成 18 年 10 月からは年 6 回（偶数月の 1 日）となり、これまでより早く年金天引きへの切り替えが可能となります。それまでは、お手数ですが納付書による納付か口座振替による納付（普通徴収）をしていただきます。

**Q** 昨年までは年金から介護保険料が天引きされていたのに、今年の４月に「普通徴収開始通知書（仮徴収）」と「納付書」が届きました。年金からの天引きはできないのですか？

**A** 以下の場合には、新年度の第 1 期からの介護保険料は年金からの天引きはできませんので、納付書により納めていただくことになります。

**①年金の現況届の提出が遅れたことにより、年金の受給が停止した場合**
**②年度途中に保険料額が減額となったことにより、年金天引きが停止した場合**
**③年金の併給調整などにより、年金額が減額された場合**

なお、４月 1 日時点で年金天引きの条件を満たしていると、第４期分（10 月納付分）以降から再び年金天引きとなります。その場合自動的に切り替わりますので、被保険者の方が特別に手続きする必要はありません。

**Q** 介護保険料を年金から一方的に天引きするのはおかしいのではないか。自分で納付方法を決めたいのですが。

**A** 国の定める介護保険法（平成９年法律第 123 号）第 134 条および同法施行令第 41 条により、年金が年額 18 万円以上の方は年金天引き（特別徴収）、年金が年額 18 万円未満の方は納付書による納付および口座振替による納付（普通徴収）と定められています。したがって、納付方法を個人で選択することはできません。

**◆ご不明な点がありましたら、**
**雲南広域連合介護保険課（資格賦課係）TEL（0854）45−5804までお問い合わせください。**

# ポジウム2006」開催

## 個性を発揮しながら、「協働」して取り組むことが大きな力となる！

５月 19 日（金）、雲南市木次町チェリヴァホールにおいて、「ゆうきの里づくりシンポジウム 2006 ～活力と魅力あふれる雲南地域をめざして～」（主催：雲南広域連合、雲南市、奥出雲町、飯南町）を開催し、早稲田大学宮口侗迪（としみち）教授による「市町村合併後の新たな地域づくり」と題しての基調講演、また、「市町村合併を終えた雲南地域の明日～基本理念 “ゆうき” を考えるとき～」と題してパネルディスカッションを行いました。

参加者は、雲南地域が「ゆうきの里　雲南」に掲げる６つの “ゆうき” を基調として、個々の持ち味を活かしながら人の力を結び合わせ、さまざまな連携、関係をもって取り組む「協働」（＝協力して働くこと）の大切さを学びました。

### 基調講演

演　題：「市町村合併後の新たな地域づくり
　　ー共同社会から広域協働の育成を目指してー」

講　師：早稲田大学教育・総合科学学術院教授
　　宮口　侗迪（としみち）氏

### 要　旨

#### 日本の農業・農村の歴史

●日本の農村は、山ばかりで平地が少なく生産性が低いと思われがちだが、実は山が多く無数の谷川が養分を運び水田で米をつくれるのは、世界でも恵まれた農地と言え、この価値ある水田によって、安定した農村が長く受け継がれてきた。

●1970年代から米が余ってきたことから、国は水田の減反をすすめてきたが、これは日本の水田農業の長い歩みを止めたということである。日本には生命を育む豊かな土地と水があり、農地を減らすべきではなく、食糧も自国でまかなうべきである。日本の農業の近代化の過程で、ほ場整備と減反が同時に進行したことによって兼業化が進み、農村から都市へと人口が流出した。大都市に人口が集まる一方、農村では少ない人間で土地を荒らさないで守っていく仕組みが求められる。中山間直接支払や集落営農の小さな組織では長く維持できないことから、今後は、広域的に力と力を結びつけていく「協働」が求められる。

#### 「協働」への展開

●日本の少子化、人口減少のなかで、農村（田舎）は人口減少を悲観するのではなく、豊かな自然・農地、人のつき合い、人の笑顔…など、大都市にはない豊かな暮らしをつくり上げるべきある。
農村のもつ価値を今こそ見つめ直すときである。

●日本人が個性を自覚し始めた今日、さまざまな組織や人の力を組み合わせ連携していく「協働」へと展開していくことを強調したい。つまり、違う人間の集まり、考え方の違うタイプの人間、力と結びつけることにより、新たな展開がはじまるという考え方である。

●市町村合併は、財政の建て直し、行政の効率化だけでなく、今までになかった人材と空間を持ち、新たなつき合いを始めていくことであり、いろんな人材、地域資源を活かして広域的な連携・協働により施策を打っていくことが求められる。

# 「ゆうきの里づくりシン

## パネルディスカッション

６つの「ゆうき」について、雲南地域で活動されている６人をパネリストにそれぞれの観点から、活動紹介と今後の展開等について、発表していただきました。

テーマ 「市町村合併を終えた雲南地域の明日」
～基本理念“ゆうき”を考えるとき～

### 遊気 遊び心のある雲南地域

**奥出雲葡萄園食の杜**
**代表　佐藤伊代子 氏（雲南市木次町）**

●昭和41年、旧木次町で「健康の町」を宣言、1960年代に数人の酪農家ら有志で有機農業への取り組みをはじめ、1972年「木次有機農業研究会」を立ち上げ、健康な命の源づくりを基本に活動を開始した。1990年代頃、理想の農場、有機農業のシンボル農園を整備して、現在、6事業者が入植している。パンの製造、豆腐工房、風土プランの自然食材等を使った商品販売、大石葡萄園による無農薬栽培、奥出雲葡萄園によるワイン醸造、室山農園での農業体験等を行っている。

●今後は、各々が採算をとれるにようするのが課題であるほか、環境整備、体験受入れ体制の充実、また、有機農業の理解者を増やしていくとともに、後継者、人づくりが大事である。食の杜は有機農業からスタートしており、大豆、小麦など地元産原料の供給力向上をお願いしたい。

### 有季 季節の変化が明快で、旬を感じることができる雲南地域

**雲南農業協同組合**
**代表理事専務　　高橋　雅彦 氏**

●農業自体が季節そのもので、農協は常に季節を扱っている事業体といえる。平成5年、雲南農業協同組合が発足、雲南地域の特産品をつくるという課題がある中、市場を通じて販売するだけでなく、現在ある作物を直接販売する産直市に取り組み、大きな実績をあげている。旬を扱うものに、笹巻き、お茶、柏餅、もちなどの加工も行っている。

●今後は、農業の振興をはじめとして集落営農の対応等が急務であるほか、農産物、食品の安全を第一に顔の見える生産をPRしていきたい。地元の食材を使った加工品の開発や「地産都商」と名打って都市部へ向けて販売促進をしていく。地域の農業は、女性の力に支えられている面が多く、今後、さまざまな連携や結びつきをしながら、協働の取り組みを実践していきたい。

## 裕気 心に余裕のある生活が実現できる雲南地域

**道の駅　赤来高原「ローワン」**
**シェフ　宮脇多太恵 氏（飯南町）**

●薬膳は、旬を食べて味わい、季節を感じること、目で見ておいしく楽しくいただくもの。雲南地域には魅力的な食材があり、薬膳では旬のものを使い、田舎らしさ、素朴さを大事にしている。自然の豊かさを感じながら、楽しく心に余裕のある生活をしていくことが心と体の健康、長生きにつながると思っている。

●道の駅赤来高原には、年間約10万人が訪れており、今後は「花と食」をテーマに四季を通じて楽しむ明るい町づくりを希望する。仕事の面では、ものづくり、仕事の厳しさを教育し、もっと自分に挑戦していってもらいたいと感じている。

## 優気 互いを思いやる優しさに包まれた雲南地域

**いきいきアグリ馬木**
**代表　松島美代子 氏　（奥出雲町）**

●大自然のなかで野菜をつくり、全国にボックス便を届けている25人の女性グループで、平成14年10月に結成した。心と心のつながりを大切に、真心を込めてボックス便を送っている。

●昨年、加工所を建設して1階はアグリ工房で菓子、惣菜、飲食業を、2階にはふれあいサロンとして休憩所として開放している。つけものやにしめ、弁当の注文も受け、懐かしいふるさとの味、おふくろの味という感想をお寄せいただき、励みになっている。加工所での「ものづくり」はスタートしたばかりであり、ものづくりの楽しさを感じながら、いろいろなところを見て、勉強して活動していきたい。

## 勇気 新しい価値観を受け入れる勇気をもった雲南地域

**緑のふるさと協力隊員**
**山崎　直子 氏（雲南市掛合町）**

●雲南市掛合町に来て、まず水が甘いと感じた。山々や田畑、川、生き物が新鮮で、山の色は木々の混ざり合ったところがとても好きである。出雲地方の人は10時と3時にお茶を飲みながら近所で話をしてゆっくりと時間を過ごす習慣があって、まさにスローライフ、スローフードそのものだと思う。田舎に暮らす人は、自分には厳しく、また、地域を良くしようとする気持ちをもつ人たちがいることはすばらしいと感じた。

●ここに来るまでは農山村の暮らしに憧れていた。農業、林業に携わる方の仕事、生活の楽しみ方など、田舎の暮らしをもっと知りたいと思う。

## 有機 各市町と雲南全体の有機的関係、体に安全な有機農業

**雲南広域連合長　　速水　雄一 氏**

●6つの「ゆうき」すべてをいかにして雲南全体の発展に活かすか、雲南広域連合の役割である。平成11年8月雲南広域連合が発足し、しまねふるさとフェア、雲南フェアを開催して雲南の特産をPRしてきた。これまでは行政主導で仕掛けてきたところがあるが、雲南地域を舞台に住民の皆さんの力、民間の力を連携させ、さらに一体感をつくっていっていただきたい。

●雲南地域にとって、1市2町の行政が連携をより一層堅いものに強めていくことが望まれる。また、住民レベルの連携・協働を効果的に発揮することのできる環境づくり、女性、ご高齢の方、若者とそれぞれが個性を発揮し、人とのつながりを大切にすることが重要だと強く感じた。

最後に、コーディネーターの宮口教授は、「さまざまな持ち味、個性を生かしながら、雲南地域の中でどういう力と結びついて関係をつくっていくか、合併したことにより仲間が増え、情報を知ることで、「協働」がスタートすることを期待したい。」と述べて閉会しました。

参加された皆さんのアンケートでは、「雲南地域で頑張っておられる方の熱意が伝わって、元気、勇気をいただいた」、「雲南の自然や季節など田舎の良さを再認識した」、「女性のパワーの存在、生き生きとした姿が印象的だった」などの感想がありました。

今回のシンポジウムは、雲南に暮らす私達が地元の良さを再認識し、地域のなかで互いの情報を知り、個性を発揮すること、新たな関係、輪を築いていくことの大切さを学んだ、有意義な機会となりました。

# 『雲南物産展』を開催、雲南地域の魅力を情報発信します

雲南地域の特産品の販路拡大を目的に広島地区に向けて雲南の魅力を売り込んでいこうと、雲南広域連合では、今年度４回の「雲南物産展」を開催することとしています。

この雲南物産展は、雲南市、奥出雲町、飯南町の業者、団体と連携し、来店されたお客様に対し、それぞれ自慢の特産品を宣伝・紹介し、販売促進活動を行います。

第１回は５月27日（土）、28日（日）の２日間、広島市西区のスーパー「フレスタ横川店カジルモール」で、第２回は７月８日（土）、９日（日）の２日間、広島市南区のスーパー「フレスタ宇品店」で開催しました。

今後の予定として、第３回物産展を12月に、第４回物産展を平成19年３月に計画しており、広域連合としまして、雲南地域１市２町と協力し、特産品の情報発信・販路拡大に向けた取組みをすすめてまいりますので、雲南地域から出店、ご参加をお待ちしております。詳しくは、雲南広域連合総務課（TEL0854－45－5880）までお問い合わせください。

このほかに、10月には雲南地域の特産品販売、観光PRを盛大に行う「ゆうきの里雲南フェア」を広島市中区の広島城周辺で開催します。また、旅行会社と提携して「雲南地域再発見 日帰りバスツアー」を企画し、広島地区からの観光ツアーも実施するなど、雲南地域の魅力や特産品、観光地などをより多くの方に興味・関心をもっていただけるよう、さまざまな情報発信を行っていきます。

# 「雲南地域づくりセミナー」を開催します！

地域づくり、地域活性化をテーマにした「雲南地域づくりセミナー」を、今年度４回開催します。講師をお招きし、先進的な取組みをもとに今後のヒントとなる講演をしていただきます。
参加対象者は、雲南地域にお住まいの方でテーマに興味･関心のある方ならどなたでも参加できます。入場は無料、当日会場へお越しください。ご参加をお待ちしております。

## 第１回：テーマ「集落からの起業をめざして」

日　時：平成18年８月３日（木）　午後１時00分～午後２時20分
場　所：奥出雲町三成　カルチャープラザ仁多２階　農事研修室
講　師：小林（こばやし）　富子（とみこ）氏
広島県備北の食材を使った食堂や農産物加工所を開設しようとする農家の女性を後押しするなど、農村女性起業サポーターとして活躍されています。

第２回セミナーは下記の内容で予定しています。詳しくは決まり次第、雲南広域連合のホームページでお知らせします。

## 第２回（10月、飯南町にて開催予定）

テーマ：「過疎を逆手に地域づくりを考える」
講　師：安藤（あんどう）　周治（しゅうじ）氏

# ゆうきの里 雲南 イベント情報 2006

## 8月24日（木） 奥出雲町

### 大呂愛宕祭り

奥出雲町大呂

8月24日の夕暮れから開始され、様々な山車（だし）が祭りを盛り上げます。照明を使用したライトアップなど華麗な風情が繰り広げられます。

★奥出雲町地域振興課
TEL 0854−54−2524

## 8月24日（木）、25日（金） 奥出雲町

### 三成愛宕祭

奥出雲町三成

古くから火難除けの神として崇敬され、雲南屈指の夏祭りとして神楽・仁輪加・花火・夜店などで賑わいます。幻の一夜城が有名です。

★奥出雲町地域振興課
TEL 0854−54−2524

SEPTEMBER 長月

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |

## 9月上旬〜11月上旬 飯南町

### 赤来高原観光りんご園開園

赤来高原観光りんご園

「つがる」「さんさ」「ふじ」など8種類のおいしいりんごが時期に応じて味わえます。
入園料　中学生以上500円、小学生以下300円

★赤来高原観光りんご園
TEL 0854−76−3344

## 8月9日（水） 雲南市三刀屋町

### レニングラード国立舞台サーカス

雲南市三刀屋文化体育館アスパル

可愛いクマの曲芸や息をのむアクロバット、ゆかいなピエロ…夏休みの思い出にどうぞ。
開始時間①15:00 ②19:00、入場料 一般2,500円、中学生以下2,000円

★雲南市三刀屋文化体育館アスパル
TEL 0854−45−9222

## 8月14日（月） 雲南市掛合町

### 八重滝まつり

八重滝駐車場

神事の後、ヤマメやニジマスのつかみ取りや地元住民による出店などが行われます。

★雲南市掛合総合センター
TEL 0854−62−0300

## 8月15日（火） 雲南市掛合町

### 龍頭ヶ滝滝まつり

龍頭ヶ滝

日本の滝百選にも選ばれている龍頭ヶ滝で、滝踊りの披露、地元住民による出店などがあります。

★雲南市掛合総合センター
TEL 0854−62−0300

## 8月20日（日） 雲南市掛合町

### 掛合恵比寿まつり

掛合地内

子ども神輿が町を練り歩き、勇壮な掛合太鼓が響き渡り、沿道には夜店が軒をつらねます。

★雲南市掛合総合センター
TEL 0854−62−0300

AUGUST 葉月

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | 31 | | | |

## 8月5日（土） 奥出雲町

### おろちの火祭り2006

奥出雲町横田小学校周辺

「ヤマタノオロチ」と「たたら」をシンボルとした夏祭り。ステージを中心にテント村が並んで賑わいます。

★奥出雲町地域振興課
TEL 0854−54−2524

## 8月6日（日） 飯南町

### 県民の森ふれあいフェスティバル

島根県　県民の森

夏休みに自然とふれあい、関心を深める各種体験コーナー、木工細工など盛りだくさん。
開催時間　9:30〜15:00

★島根県中山間地域研究センター
県有林管理スタッフ
TEL 0854−76−2302

## 8月6日（日） 雲南市大東町

### 大東七夕祭

大東町連坦地

子供を中心に12宮の七夕行列が町内連坦地を練り歩く430年の伝統を誇る祭り。

★大東七夕祭保存会（大東町観光協会内）
TEL 0854−43−2505

## 10月15日（日）雲南市加茂町

### 第13回全国ターゲットバードゴルフふれあい大会

加茂中央公園ふれあいの丘

平成4年度開催の全国スポレク祭を記念して平成5年より開催しています。

★加茂B&G海洋センター
TEL 0854−49−7100

## 10月28日（土）、29日(日) 雲南市吉田町

### 第2回日本たまごかけごはんシンポジウム

雲南市吉田町内

一杯のたまごかけごはんに込めたらた様々なエピソードや思い入れなどを語り合います。

★日本たまごかけごはん楽会事務局
（（株）吉田ふるさと村内）
TEL 0854−74−0558
[0（たま）5（ご）5（ご）8（はん）]

## 10月29日（日）雲南市大東町

### 山王寺棚田まつり

棚田展望台（大東町山王寺本郷）

棚田百選の地で神楽などが催され、おにぎり、豚汁、棚田米等農産物の即売交流会なども行われます。

★棚田まつり実行委員長　金森富雄さん
TEL 0854−43−5364

## 10月下旬　奥出雲町

### 奥出雲ふれあいサイクリング

奥出雲町内

奥出雲の秋の風物詩。町内の名所をゆっくりと巡り、サイクリングを楽しもう。
参加料　必要（金額未定）

★仁多町商工会
TEL 0854−54−0158

## OCTOBER　神無月

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23/30 | 24/31 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |

## 10月8日（日）雲南市加茂町

### 第3回銅鐸の響き加茂弥生まつり

雲南市加茂文化ホールラメール周辺

火柱の炎による演出や野焼きなど「弥生」をテーマにさまざまな催しを行います。

★加茂総合センター
自治振興課
TEL 0854−49−8601

## 10月8日（日）雲南市掛合町

### 第24回掛合町ふるさとまつり

掛合中学校周辺

総勢150名による勇壮な掛合太鼓揃い打ちやむかで駅伝などイベント満載です。

★掛合町ふるさとまつり実行委員会
（掛合総合センター自治振興課内）
TEL 0854−62−0300

## 10月8日（日）　飯南町

### 東三瓶フラワーバレー 第16回コスモス祭

志津見地内イベント広場

志津見の広大な花畑に咲くコスモスの花。みんなで楽しめ、おいしいものも盛り沢山です。

★東三瓶フラワーバレーコスモス祭実行委員会
（飯南町役場自治振興課志々地区担当）
TEL 0854−73−0001

## 10月9日（月）雲南市三刀屋町

### 第11回永井隆記念 明石高原平和ロードレース大会

明石緑ヶ丘公園

誰でも気軽に参加できるロードレースです。
（参加対象:小中学生、高校生、一般）参加料 必要
★平和ロードレース実行委員会事務局
（三刀屋総合センター内）
TEL 0854−45−2111

## 9月17日（日）雲南市加茂町

### 松竹特別公演「はりまぜ屏風・明日の幸福」

雲南市加茂文化ホールラメール

毎年好評の松竹公演。水谷八重子を座長に華やかな舞踊と抱腹絶倒のお芝居をお届けします。
開始時間18:00〜
入場料1階4,500円、2階3,500円（全席指定）

★雲南市加茂文化ホールラメール
TEL 0854−49−8500

## 9月23日（土）　飯南町

### 琴弾山神社例大祭

琴弾山神社

「子供の疳の虫封じに御霊験あらたか」と言われ、例大祭は琴引山山頂の琴弾山神社で行われます。

★琴弾山神社（由来八幡宮内）
TEL 0854−72−0059

## 9月25日（月）雲南市三刀屋町

### 三刀屋天満宮　秋の例祭

三刀屋天満宮

出雲三天神のひとつ、「三刀屋天満宮」の恒例行事です。
★雲南市商工観光課
TEL 0854−40−1054

## 9月30日（土）　奥出雲町

### '06奥出雲太鼓祭

奥出雲町三成公園野球場

奥出雲町の「仁多乃炎太鼓」のほか、全国から集まる太鼓グループのステージが楽しめます。
入場料　必要（金額未定）

★奥出雲町地域振興課
TEL 0854−54−2524

撮影者：川島敏明（雲南市大東町在住）

# 雲南市大東町の赤川ほたる（ゲンジボタル）です。

夜空にゆれる黄色いほのかな光。「今年はいつもよりおおきい光だねー。」と母が言った。短いいのちをかけて、今年も私たち母娘を楽しませてくれた。
来年もまた会いましょう。

発行

・雲南広域連合：〒690−2403　島根県雲南市三刀屋町下熊谷1773−1　TEL 0854−45−5880　FAX 0854−45−5887
http://www.unnan.jp/

・公立雲南総合病院：〒699−1221　島根県雲南市大東町飯田96−1　TEL 0854−43−2390（代）　FAX 0854−43−2398
http://user.yoitoko.jp/unnan-h/

・雲南消防本部：〒699−1311　島根県雲南市木次町里方1100−6　TEL 0854−40−0119（代）　FAX 0854−42−1911